

1 各2点×4問

(1)	工	(2)	①	ウ	(3)	②	カ	(4)	③	ア
-----	---	-----	---	---	-----	---	---	-----	---	---

1
8

2 (1)~(5) 各2点×5 (6)~(15) 各3点×10

(1)	①	(2)	③	(3)	④	(4)	③	(5)	④
(6)	⑤	(7)	②	(8)	①	(9)	①	(10)	②
(11)	③	(12)	⑥	(13)	②	(14)	②	(15)	②

2
40

3 (1)~(5) 各2点×5 (6)~(15) 各3点×10

(1)	②	(2)	③	(3)	②	(4)	③	(5)	①
(6)	④	(7)	③	(8)	①	(9)	①	(10)	④
(11)	③	(12)	②	(13)	①	(14)	④	(15)	②

3
40

4 (1)~(10) 各3点×10 (11)~(15) 各2点×5

(1)	③	(2)	②	(3)	③	(4)	③	(5)	③
(6)	②	(7)	①	(8)	④	(9)	④	(10)	①
(11)	ロソ	(12)	鉄鉱石	(13)	天井川	(14)	ぶどう		
(15)	船舶								

4
40

5 (1) 2点 x 1 (2),(3) 各1点 x 10

(1)	ウ	(2)	① 歴史的過程	②	地域的特色
(3)	① 地理	②	多様性	③ 文化遺産	④ 地域
	⑤ 中学校社会科	⑥	公正	⑦ 宗教	⑧ 多角的

5
12

6 (1) 各1点 x 4 (2) 2点 (3) 4点 (4),(5) 各1点 x 2 (6) 6点

(1)	(ア) ウィマ	(イ) 正統カリフ時代	(ウ) セルジューク	(エ) スルタン
(2)	アリーとその子孫のみ			
(3)	ウマイヤ朝では、地租(ハラジ)と人頭税(ジズヤ)は被征服者である異民族にだけ課せられ、彼らがイスラムに改宗しても免除されなかった。アッバース朝では、イスラム教徒であればアラブ人であっても人頭税が課せられ、またアラブ人も征服地に土地をもつ場合には地租が課せられた。			
(4)	②	(5)	フラグ	
(6)	一つ目の理由	モンゴルの侵入はイスラム世界の東半にしかおぼえず、西半は安泰だったため。		
	二つ目の理由	軍事的侵略者であったモンゴルが、ほぼイスラムに改宗し、文化的にはイスラムが勝利したため。		

6
18

7 (1) 1点 (2) 4点 (3) 8点 (4) 4点

(1)	全体主義
(2)	1918年の第4次選挙法改正で、21歳以上の男性と30歳以上の女性の選挙権が認められた。1928年の第5次選挙法改正で、21歳以上の男女すべてに普通選挙権が与えられた。
(3)	1880年代初め、コング地域をめぐるヨーロッパ諸国の対立がおこると、ビスマルクは84~85年にベルリン会議を開催し、アフリカ植民地化の原則を定めた。イギリスは1880年代初め、エジプトを制圧して事実上の保護国とした。アフリカ南部では、99年にオランダ系のブル人との南アフリカ戦争をおこし、トランスワール・オレンジ両国を併合した。フランスは1881年にチュニジアを保護国にしたのち、ジブチ、マダガスカルにたがねおとした。その結果、イギリスと衝突し、98年にフンダナブエ戦争をおこしたが、フランスの譲歩により解決した。ドイツは1880年代半ば、カメルーンなどの植民地を得たが、1905年と11年に、フランスのモロッコ支配に挑戦し、モロッコ事件をおこした。しかし英仏協商が存在したために目的をはたせず、12年モロッコはフランスの保護国になった。イギリスは1880年代にソマリランド・エトピアを獲得したのち、1911~12年のイギリス=トルコ戦争の結果、シリアを獲得した。20世紀初頭のアフリカは、イギリス帝国とフランス共和国を除いて、すべて列強の支配下におかれた。
(4)	1932年の総選挙で第一党に躍進したナチ党は、共産党の進出を懸念する保守派や産業界の協力を得て、33年1月にヒトラー内閣を樹立した。政権掌握後、ヒトラーは国会議事堂放火事件を利用して共産党の活動を禁止し、3月には政府に立法権を与える全権委任法が成立した。

7(4)まで
17

(5) 1点 (6) 4点 (7)~(10) 各1点 x 4

(5)	国際連盟						
(6)	1950年、アジアと米東の支持を得た金日成の北朝鮮軍が韓国に侵攻し、朝鮮戦争となった。国連安全保障理事会は、北朝鮮による侵略と断定し、アメリカ軍を中心とする国連軍が派遣された。南ベトナムでは、ゴ・ディン・ジエム の独裁体制への反発から南ベトナム解放民族戦線が結成され、北ベトナムの支援を受けて、武力闘争を展開した。 これに対し、アメリカは1965年から北爆を開始し、南ベトナムに戦闘部隊を派遣し軍事介入を行った。						
(7)	大西洋憲章	(8)	マルタ島	(9)	フウェート	(10)	ティトー

7(5)~(10)

9

8 (1) 各1点 x 4 (2),(3),(4) 各1点 (5) 2点 (6) 2点 (7) 2点 (8) 1点 (9) 1点 (10) 6点

(1)	(ア)	マカオ	(イ)	生糸	(ウ)	マニラ	(エ)	ポトシ	
(2)	①		(3)	交鈔	(4)	靖難の役			
(5)	対モンゴル戦争への必要性から、銀に依存する性格を強めていたから。								
(6)	民間海上貿易の禁止								
(7)	倭寇の活動の活発化					(8)	フェリペ2世		
(9)	アカプルコ貿易								
(10)	16世紀のヨーロッパでは銀の流入により価格革命と呼ばれる物価騰貴がおこった。一方、中国では北方 民族への対応や一条鞭法の実施により民間で銀不足がおこり、大きな米価の上昇はみられなかった。								

8

2/

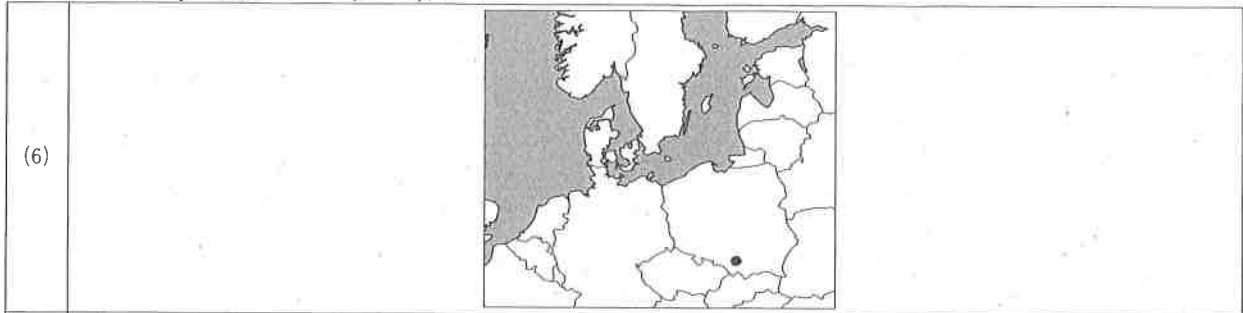
9 (1) 各1点 x 3 (2) 2点 (3) 3点 (4) 6点 (5) 1点

(1)	(ア)	ヘブライ	(イ)	ヤハウエ	(ウ)	シオニズム
(2)	前586年にユダ王国が新バビロニアに滅ぼされて、住民の多くがバビロンに連れ去られた事件。					
(3)	1073年に教皇に即位したグレゴリウス7世は、司教の叙任権の帰属をめくつ、ドイツ国王ハインリヒ4世と対立した。 ハインリヒ4世がグレゴリウス7世を廢位したことに對し、グレゴリウス7世はハインリヒ4世を破門した。王位の維持が 困難となったハインリヒ4世は、1077年カノサ城でグレゴリウス7世に謝罪した。					
(4)	1303年に教皇ボニファチウス8世はフランス王フィリップ4世の家臣により捕えらるるというアナーニ事件がおこった。 その後、フランス司教が教皇に即位し、フランス国内の教皇領アヴィニョンに居を定めると、70年近くもこの 教皇庁がローマを離れる事態となった。77年、教皇庁はローマに帰還するが、まもなく追放されてイヴリイ氷 の教皇がローマに、フランス氷の教皇がアヴィニョンにたつ教会大分裂という状態におこり、ヨーロッパ全体 が二つの陣営に分断されることとなった。					
(5)	イブニ・ルシド					

9(5)まで

15

(6) 2点 (7) 8点



(7) 第一次世界大戦中に、イギリスはフサイン・マクマホン書簡によって戦後のアラブ独立を約束した。一方、イギリスはバルフォア宣言において、パレスチナにおけるユダヤ民族の「ナショナルホーム」建設を支持すると表明すると、ヨーロッパ各地に住んでいたユダヤ教徒の移住が加速した。戦争が終わると、大戦中の英仏間の密約に従って、パレスチナはイギリスの委任統治領となる。アラブ系住民とユダヤ系住民のあいだの紛争がたびたびおこった。第二次世界大戦前から大戦中にかけて独立をほしめたアラブ諸国は、1945年にアラブ連盟を設立した。国連は、アラブ地域の一部であったパレスチナをユダヤ人国家とアラブ人国家に分割する案を決議した。パレスチナにはユダヤ人難民が大量に流入しつづけており、おびにアラブ人との対立が激化した。48年5月、ユダヤ人はイスラエル建国を宣言したが、アラブ諸国はこれを承認せず、第一次中東戦争が勃発した。

9(6)-(7)

10

10 20点

8c 前半

西ゴット王国

8c 後半

後ウマイヤ朝

11c

レコンキスタ
ムラービト朝

ウマイヤ朝、西ゴット王国滅ぼす
→キリスト教徒による国土回復運動 (レコンキスタ) 展開

12c

レコンキスタ
ムワッヒド朝

15c

ポルトガル王国
カスティリヤ王国
アラゴン王国
ナスル朝

カスティリヤ、アラゴン合併
スペイン王国成立
↓
1492
ナスル朝のグラナダ攻略
||
レコンキスタ完成

10

20

受験番号		得点 世界史 その4	30	得点 世界史 合計	122
------	--	------------------	----	-----------------	-----

11 (1) 2点, (2) 各1点×2, (3) 各2点×4

(1)	ウ	(2)	① 歴史的過程	② 地域的特色	
(3)	① イ→ア→ウ	②	世界の	中の	日本
	③ 地域の文化遺産	④	公正		

11
12点

12 (1)・(2)・(5)・(6) 各2点×4, (3)・(4)・(7)・(8) 各3点×4, (9)・(10) 各2点(完答)

(1)	太安万侶(安船)	(2)	六国史
(3)	(例) 朝貢形式に反対したから。		
(4)	(例) 前に関白であった人。	(5)	300歩
(6)	埴輪	(7)	(例) 追葬が可能である。
(8)	(例) 年貢の徴収・納入		
(9)	京都大番役の催促	謀叛人の逮捕	殺害人の逮捕
		(10)	B, E

12
24点

13 各2点×5

(1)	(ア) 己酉約条	(イ) 朝鮮通信使	(ウ) 謝恩使	(エ) 慶賀使
(2)	回答兼刷還使			

13
10点

14 (1)・(2)・(4) 各2点×4, (3) 3点

(1)	(ア) 富突	(イ) 庚申	(2)	19世紀
(3)	(例) 寺の秘仏などを開扉して公開すること。			
(4)	菅江真澄			

14
11点

15 (1)~(4)・(6)・(7) 各2点×11, (5) 3点

(1)	(ア) 高野房太郎	(イ) 労働組合期成会	(ウ) 工場法	(2)	桂太郎
(3)	『職工事情』	(4) (エ) 犬養毅	(オ) 日清議定書		
(5)	(例) 衆議院で多数の議席を占める政党が内閣を担当すること。				
(6)	(カ) 新体制	(キ) 隣組	(ク) 大日本産業報国会	(7)	①

15
25点

16 (1)~(6)各2点×8 (7)4点

(1)	人物	吉野作造	考え	国家の主権の回復の基本的な目標は政治上人民に在るべし										
(2)		治安警察法	(3)	『中央公論』				(4)	若槻礼次郎					
(5)	d	台湾銀行			e	鈴木商店			(6)	枢密院				
(7)	(例)	池田勇人内閣は「所得倍増」をスローガンに促進する経済政策を展開した。政経分離の方針の下、国交のない中国との貿易拡大をめざし準政府間貿易を行い、1964年にはOECDに加盟し、資本の自由化を実施した。また、1961年には農業所得の安定をめざし、農業基本法を公布した。												

16
20点

17 20点

なせ、聖武天皇は 国分寺建立の詔や大仏造立の詔を出したのだろうか。

<藤原氏>藤原不比等(天皇家と密接な関係構築)

- ・娘の宮子を文武天皇に嫁がせる
- ・その子の皇太子(のちの聖武天皇)にも娘の光明子を嫁がせる

<藤原氏>藤原4兄弟

- ・光明子を皇后に立てるが、天然痘により病死

<藤原氏>藤原玄昉

- ・吉備真備・玄昉らの排除を求めて、大川で大規模な反乱

<皇族>長屋王が右大臣となる

- ・藤原氏の外戚としての地位が危ぶまる
- ・不比等の子4兄弟の策謀により、長屋王を自殺させる

<皇族出身>橘諸兄が政権を握る

- ・唐から帰国した吉備真備、玄昉の活躍

→ 不比等の死

→ 聖武天皇は、政治情勢や飢饉・疫病などの社会的不安のもと、奈良京、難波宮、紫雲寺宮などに都を転々と移す→ 仏教によって国家の安定をはかることを目的とし、74年国分寺建立の詔、74年大仏造立の詔を出した。

17
20点

18 (2) ①② 各1点、(1) (3) 各2点、(4) 各3点×2

(1)	ウ	(2)	① 歴史的過程	② 地域的特色
(3)	位置や空間的な広がりとのかかわり			
(4)	①	学校所在地を中心とする通学圏など日常生活圏の範囲		
	②	地形図やハザードマップなどの主題図の読図		

18

12

19 (1) 1点、(2) 各1点×4、(3) 各1点×4、(4) ①1点、②4点、③各1点×2

(1)	④ (5) ①②③ 各1点×3、(6) ④ 3点(空解)、(7) ①②③ 各2点×3									
(2)										
(3)	気候区分	A	Cfa	B	Dw	場所	A	オ	B	エ
(4)	①	BS								
	②	ワグナグーは赤道低圧帯が北上するために夏が雨季になるのに対して、トリポリは亜寒帯低気圧帯が南下するために冬が雨季となる。								
(5)	①	ゴマ		②	なつめやし					
(6)	①	ブラジル		②	ロードクワシユ		③	大豆		
	④	食用、飼料用、油脂用、バイオエタノールなど(のうちから2つ以上)								
(7)	①	高収量品種の導入などによる米・小麦の自給率向上を目指した変革								
	②	インド国民に牛肉を食物禁忌とするヒンドゥー教徒や肉食主義のジャイン教徒が多いことから、乳製品を移行させることが重要であった。								
	③	灌漑の普及した地域で穀物の単収が多く、普及していない地域で少ない。「緑の革命」によって灌漑施設や農薬・肥料を導入した地域とそうでなかった地域との格差が拡大したことが挙げられる。								

19

28

20 (1) 1点 (2) 各1点×2 (3) 増加、減少各1点×2, 理由各2点×2 (4),(5) 各4点×2 (6) 3点 (7) 2点 (8) 各1点×4

(1)	石炭火力	発電所		
(2)	記号	④ 道県名 長崎県		
(3)	最も増加	ナイジェリア	理由	医療・衛生状態の改善により死亡率が低下したため
	最も減少	フィリピン	理由	教育による家族計画の普及により出生率が低下したため
(4)	村落は人口密度が疎らで、主に農林水産業を営む第一次産業を行う場であるのに対し、都市は人口密度が密で、主に工業、商業などの第二次、第三次産業を行う場である。			
(5)	この区は昼夜間人口比率は著しく減少した。理由は都心地域の地価が下落し、都心周辺の高層マンション等の居住者が増え、都心回帰と呼ばれる現象が進んだためと考えられる。			
(6)	中心都市の人口に大きな変化がないのに対して、郊外地区の人口は大幅増加した。都市地域以外のその他の地域が都市化郊外化に組み込まれ、郊外地区として膨らんだことが理由である。			
(7)	①			
(8)	① (A)	スイイン	(B)	アラビア
	② (C)	フランス	(D)	カトリック

20
26

21 各1点×20 (11) 順不同

(1)	①	ウルドゥー語	②	ベンガル語			
(2)	COMECOM		(3)	ワルシャワ条約機構(WTO)	(4)	スロバニア	
(5)	エ	(6) (A)	ポーランド	(B)	ハンガリー	(C)	モルドバ
(7)	(ア)	ドナウ	(イ)	アスタ	(ウ)	カルパチア	
(8)	イ	ベルギー	ウ	イタリア			
(9)	①	オランダ	②	フランス	③	ドイツ	
(10)	エ	(11)	アイスランド(ノルウェー)	ノルウェー(アイスランド)			

21
20

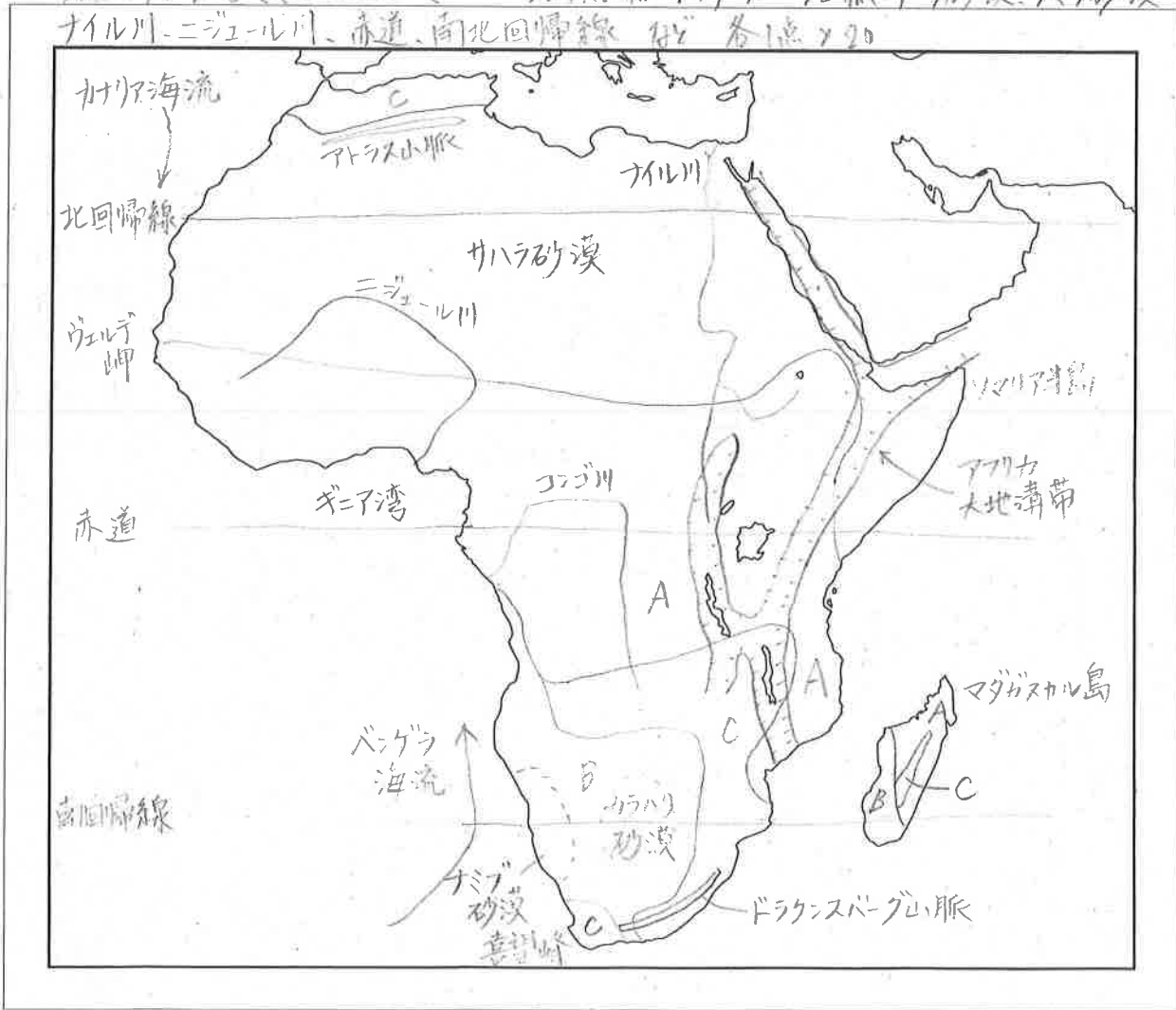
22 (1)①②各2点×2、(1)③④、(2)各4点×3

	①	31 / 400	②	ア
(1)	③	恒年乾土地のため河川の氾濫によって浸水することを防ぐため江戸時代に新しくつくられた人工的な放水路		
	④	なだらかに傾斜する砂地を利用した野菜栽培が、砂丘地やハウス栽培によって行われる。		
(2)	自然災害伝承碑の地図記号があり、太平洋に面したこの地域にかつて起きた津波被害の伝承を残し、現代の減災のために設置されている。			

22

16

23 各領域A・B・Cおおよその分布、アトラス山脈、ドラクンスバーグ山脈、サハラ砂漠、ナミブ砂漠、ナイル川、ニジェール川、赤道、南北回帰線 各1点×20



23

20

受験番号		得点 地理 その9	36	得点 地理 合計	122
------	--	-----------------	----	----------------	-----